

2018年3月期 JALUXグループ連結決算

Financial Results for the Year Ended March 31,2018

Index

連結決算概要 <i>Consolidated Financial Summary</i>	... 3
セグメント別の概況 <i>Performance per Operating Segment</i>	... 12
連結業績予想 <i>Outlook for Year Ending March 2019</i>	... 17
中期経営計画 「Next Stage 2020」の進捗 <i>Progress of medium-term management plan</i>	... 21

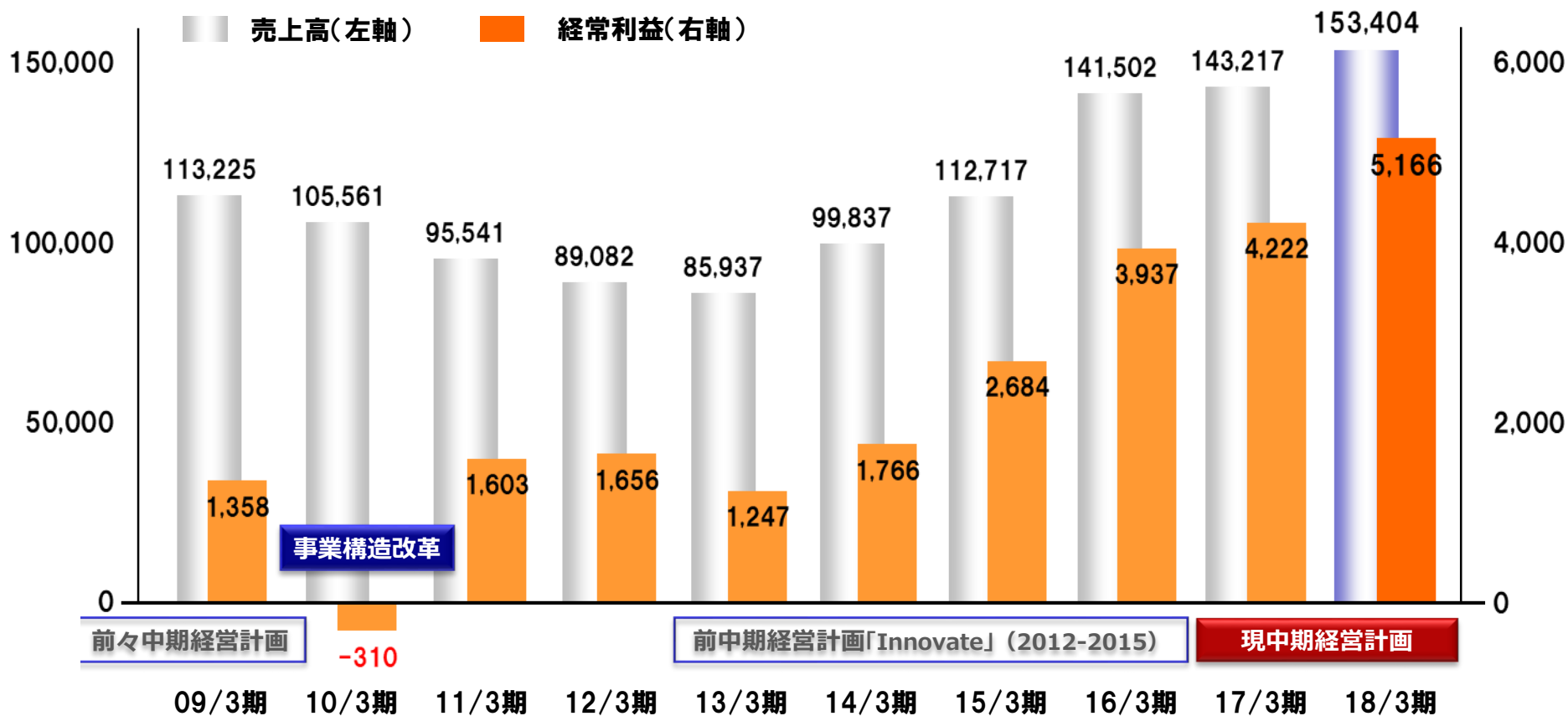
連結決算概要

Consolidated Financial Summary

業績推移グラフ

連結年度業績推移

単位:百万円 Million yen



対 前期

Compared to the previous period

(単位:百万円 Million yen)

	17年3月期 March 2017	18年3月期 March 2018	前期差	前期比
売上高 Net Sales	143,217	153,404	+10,186	107.1%
売上総利益 Gross Profit	23,369	25,151	+1,781	107.6%
販売管理費 SG&A	19,313	20,442	+1,128	105.8%
営業利益 Operating Income	4,056	4,709	+652	116.1%
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	166	457	+291	275.2%
経常利益 Ordinary Income	4,222	5,166	+943	122.3%
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△67	△475	△407	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 Net Income	2,572	2,693	+120	104.7%
売上高粗利率	16.3	16.4	+0.1	
売上高経常利益率	2.9	3.4	+0.4	

連結業績 期初予想比 *Compared to pre-term projection*

期初予想比
Compared to pre-term projection

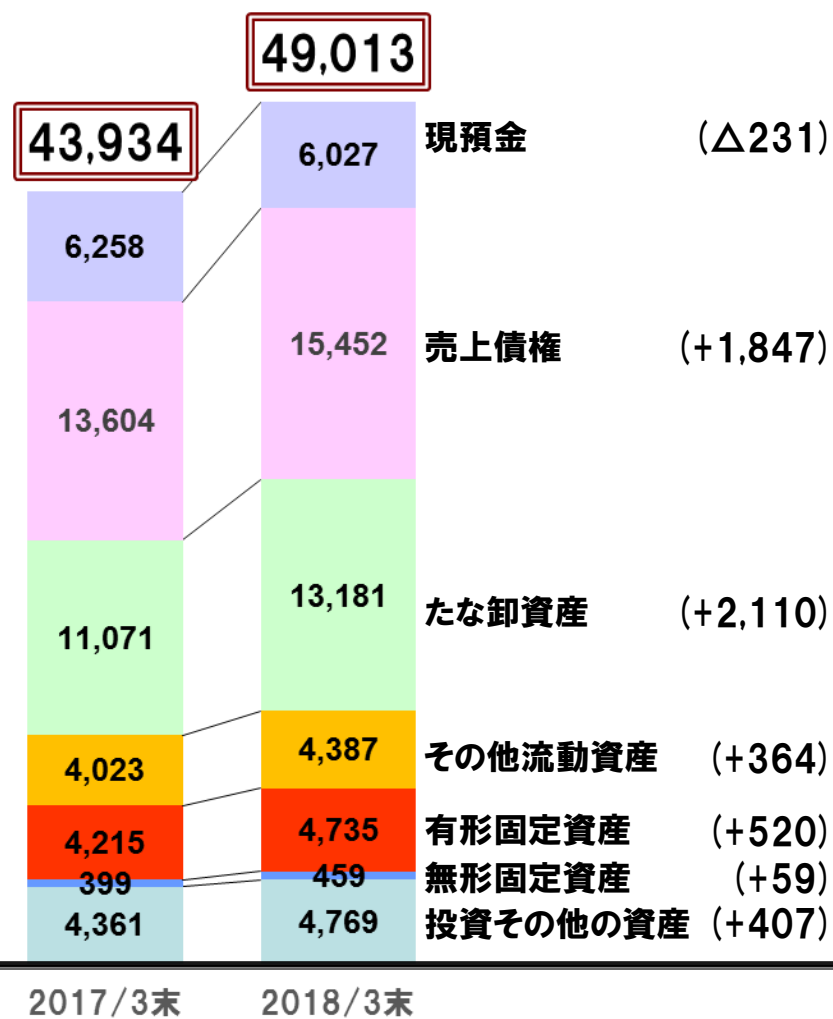
(単位:百万円 Million yen)

	期初予想	18年3月期 March 2018	差額	予想比
売上高 Net Sales	155,000	153,404	△1,595	99.0%
営業利益 Operating Income	4,400	4,709	+309	107.0%
経常利益 Ordinary Income	4,600	5,166	+566	112.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 Net Income	2,700	2,693	△6	99.8%
1株当たり 当期純利益(円) Earnings per share	213.56	213.02	△0.54	99.7%

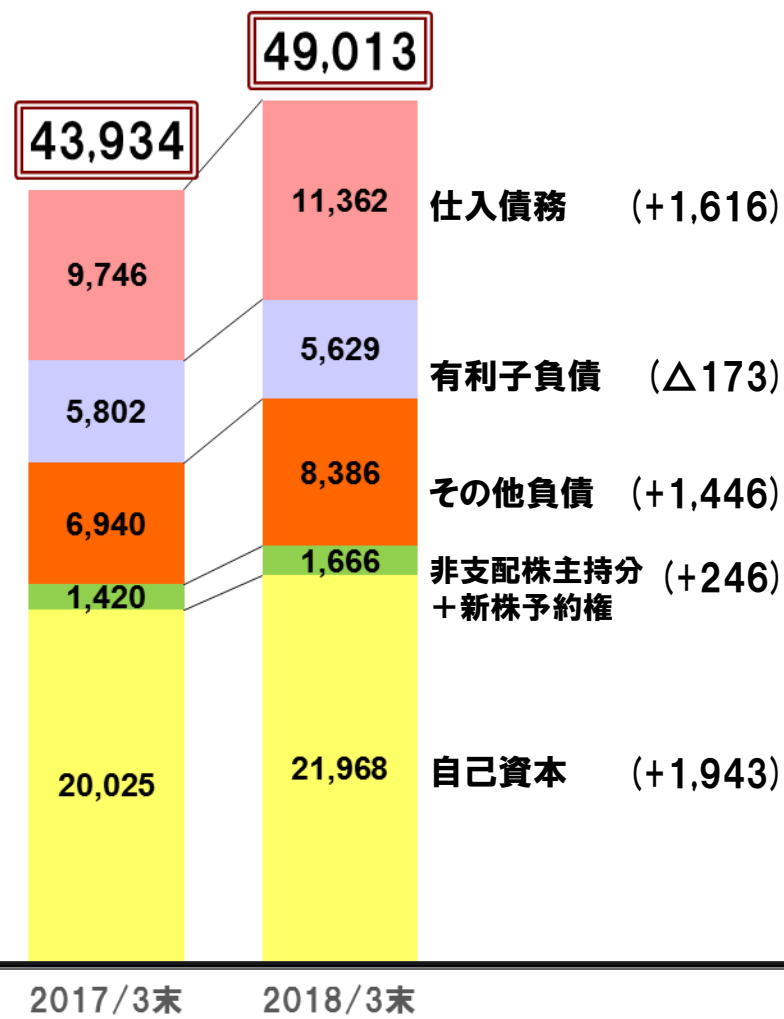
貸借対照表 *Balance Sheet*

(単位:百万円 Million yen)

資産の部 Assets



負債・純資産の部 Liabilities and net assets



対 前年度末
Compared to March 31, 2017

(単位:百万円 Million yen)

	17年3月期 March. 31 2017	18年3月期 March. 31 2018	前期差	前期比
総資産 Assets	43,934	49,013	+5,078	111.6%
自己資本 Shareholders' Equity	20,025	21,968	+1,943	109.7%
自己資本比率 Equity Ratio (%)	45.6	44.8	△0.8	—
有利子負債残高 Interest Bearing Debt	5,802	5,629	△173	97.0%
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	0.29	0.25	△0.04	—

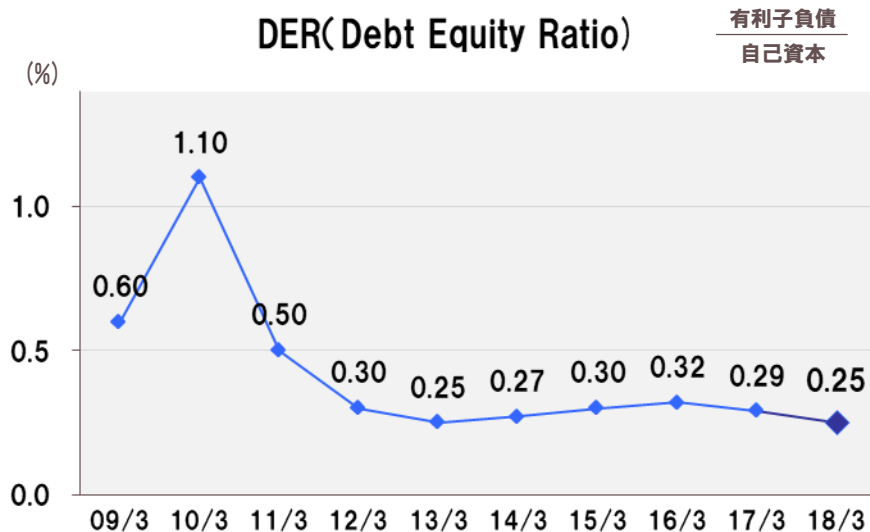
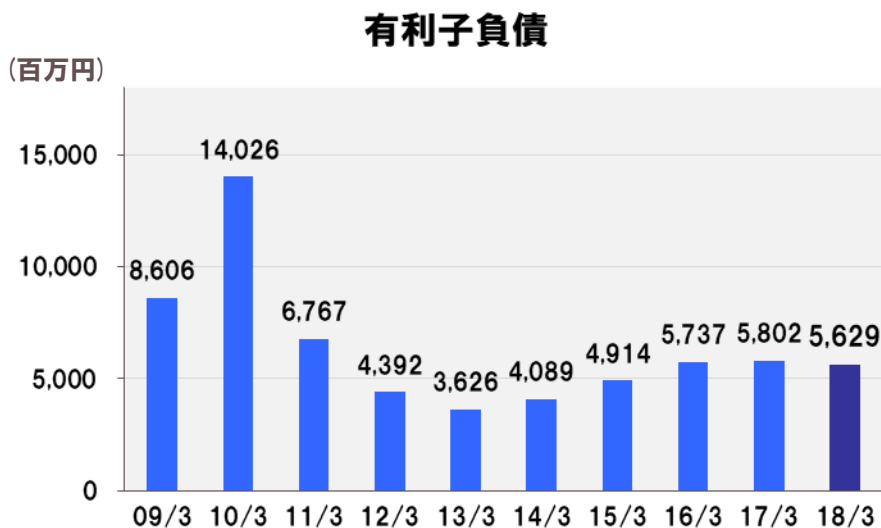
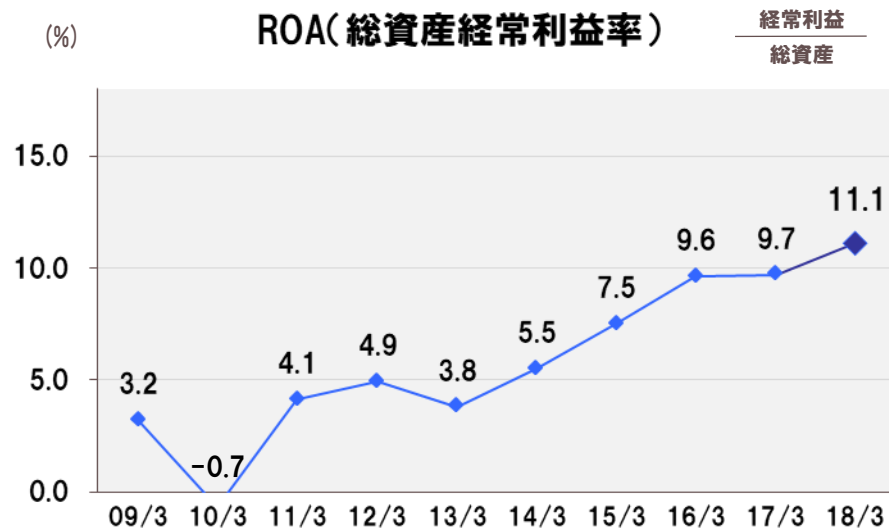
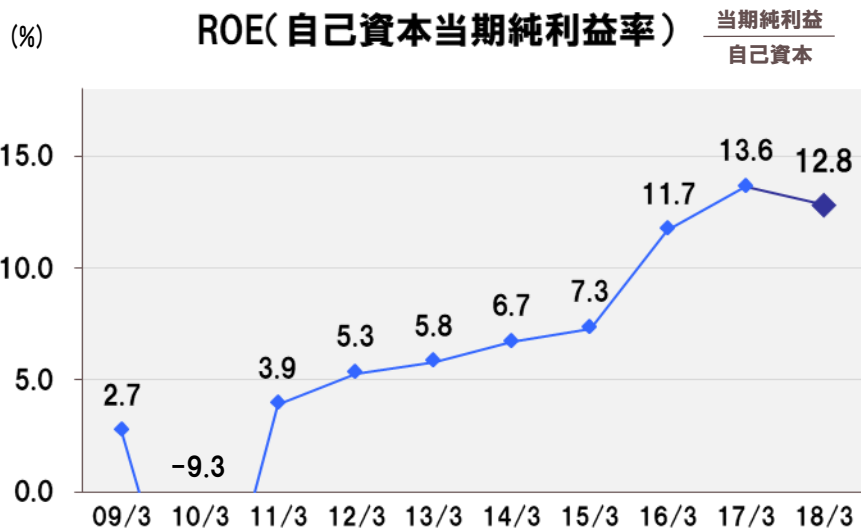
対 前期

Compared to the previous period

(単位:百万円 Million yen)

	17年3月期 March 2017	18年3月期 March 2018	前期差
営業キャッシュ・フロー Net Cash from Operating Activities	2,906	2,442	△463
投資キャッシュ・フロー Net Cash from Investing activities	△2,936	△1,708	+1,227
財務キャッシュ・フロー Net Cash from Financing Activities	△948	△936	+11
フリーキャッシュフロー Free Cash Flow	△29	733	+763

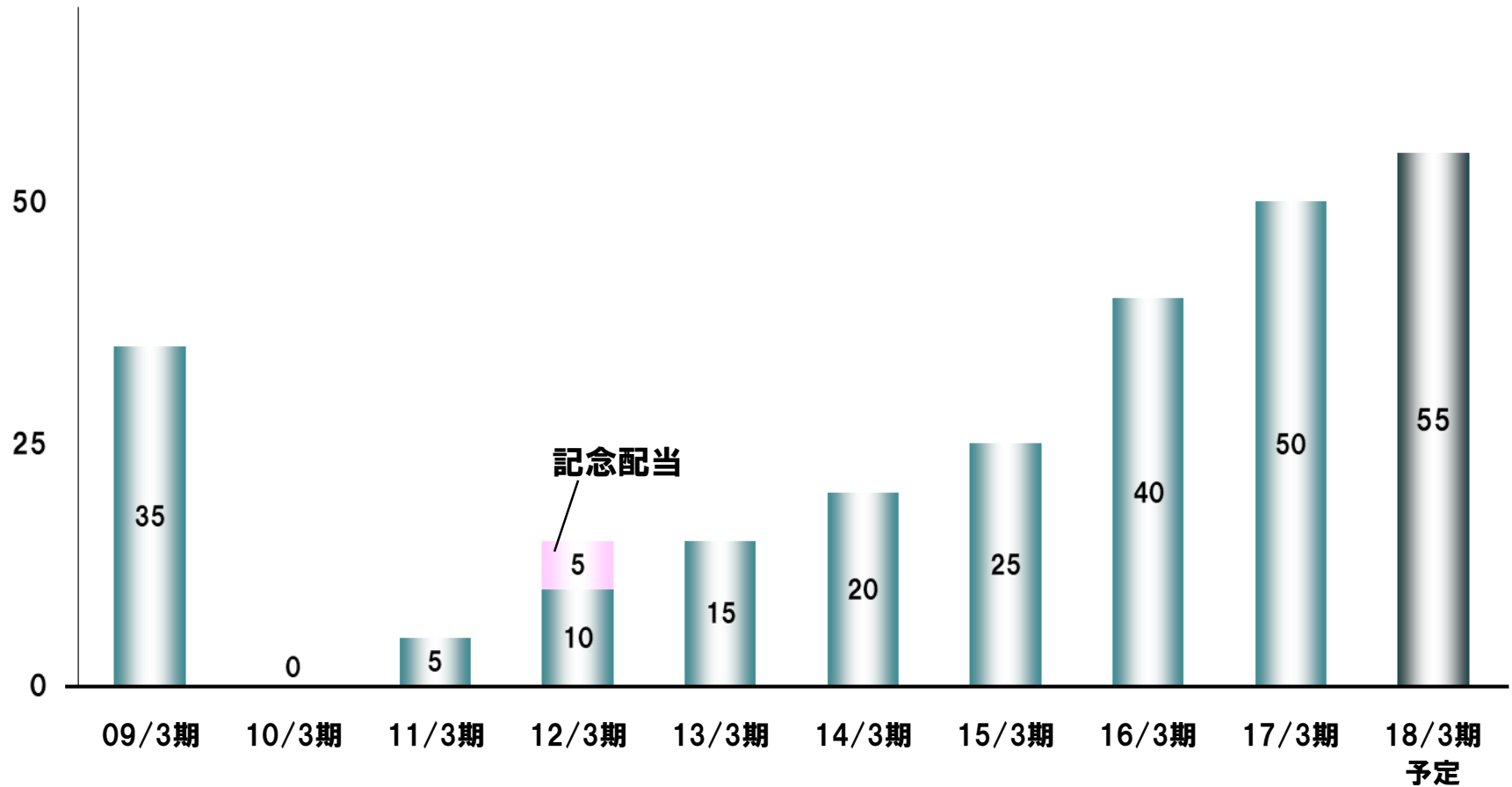
各指標の推移



1株あたり配当推移

配当推移グラフ

単位:円/1株 yen



セグメント別の概況

Performance per Operating Segment

セグメント別実績 *Results per Segment*

売上高 Net Sales

対 前期
Compared to the previous period

(単位:百万円 Million yen)

	17年3月期 March 2017	18年3月期 March 2018	前期差	前期比
航空・空港関連 Aviation & Airport-Related	52,146	56,864	+4,718	109.0%
ライフサービス Life Service	12,939	13,550	+611	104.7%
リテール Retail	53,124	59,245	+6,120	111.5%
フーズ・ビバレッジ Food & Beverage	26,069	24,941	△1,128	95.7%
全社及び消去 Eliminations	△1,061	△1,197		
合計(連結) Total	143,217	153,404	+10,186	107.1%

※各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額です。

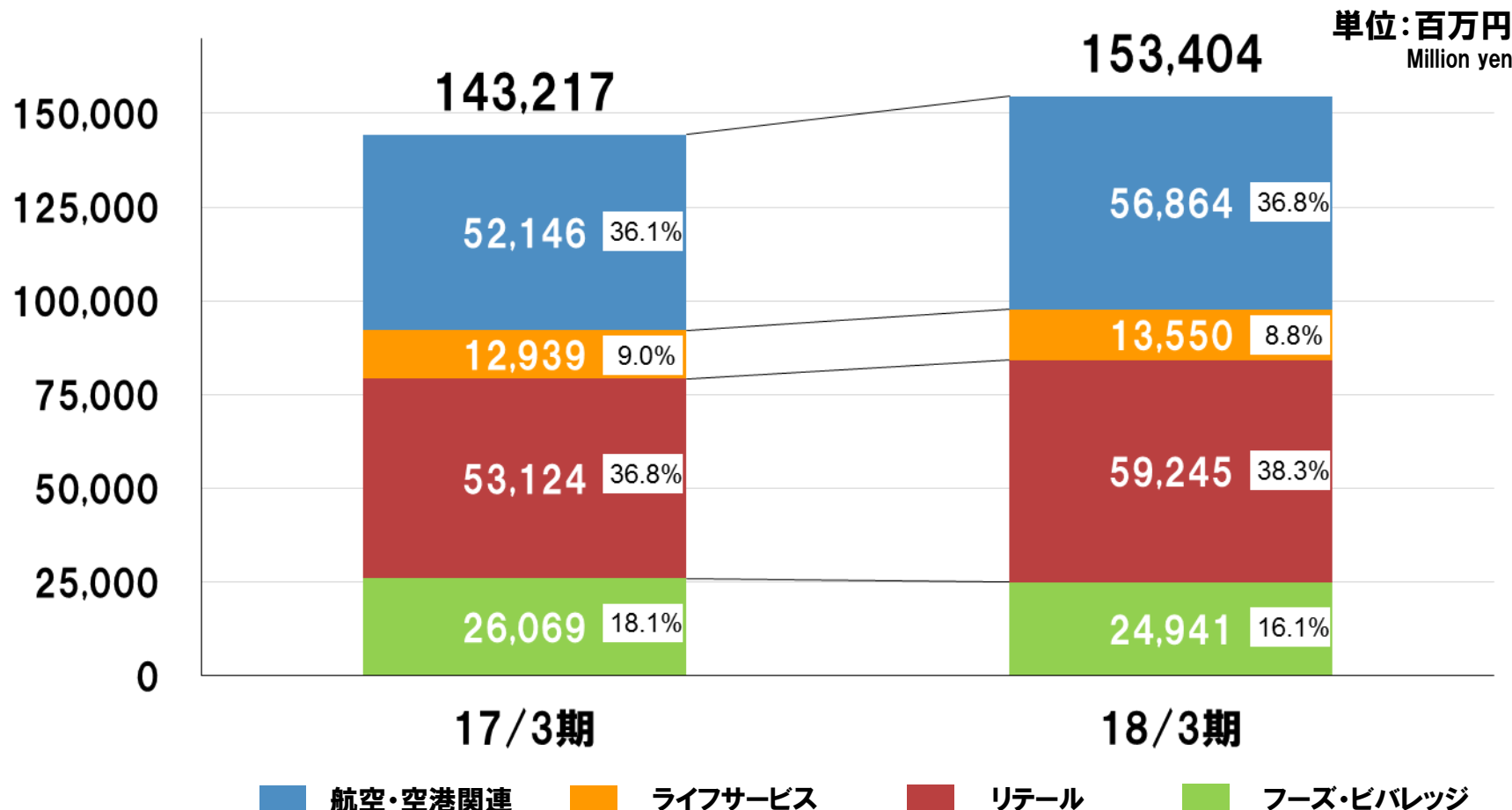
セグメント別実績 *Results per Segment*

売上高 Net Sales

対前期

Compared to the previous period

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)



[セグメント] ・2018年3月期からのセグメント間の事業の組み替えにより、17/3期数値を組み替えています。

航空・空港関連／ライフサービス

対 前期

Compared to the previous period

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)

単位：百万円 Million yen, %

	17/3期 March 2017	18/3期 March 2018	前期差	前期比	
航空・空港 関連事業	売上高	52,146	56,864	+4,718	109.0%
	営業利益	791	784	△7	99.1%

ライフサービス 事業	売上高	12,939	13,550	+611	104.7%
	営業利益	1,141	1,134	△7	99.4%

*保険代理店BPO (Business Process Outsourcing) 業務：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務(契約手続きやコールセンター業務等)の一部を受託する事業

*AQUA PATCH:水をかけるだけで素早く硬化する特徴をもつ道路補修材

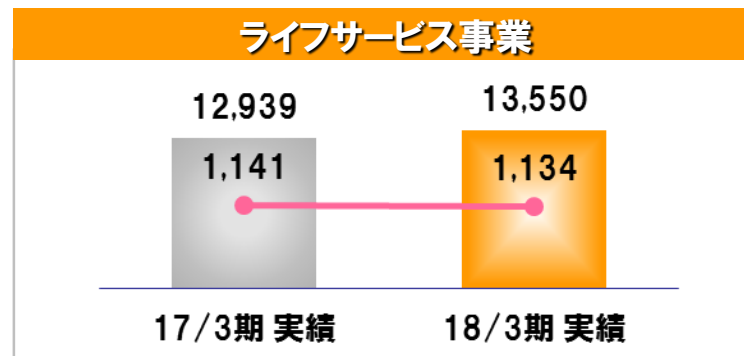
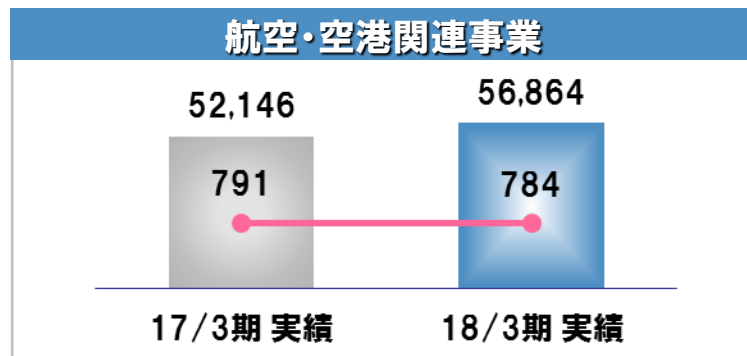
Remark (主な要因)

[航空・空港関連事業]

- ・重工業向け航空機エンジン部品販売増
- ・産業用ガスタービン部品販売増
- ・事業拡大目的の人員増に伴い費用増
- ・たな卸資産の評価減 実施

[ライフサービス事業]

- ・国内不動産販売増
- ・法人向け保険・保険代理店BPO業務* 拡大
- ・海外サービス付きアパートメント増収、運営費用発生
- ・道路補修材(AQUA PATCH*)販売増、販売体制強化費用増



セグメント別実績 *Results per Segment*

リテール／フーズ・ビバレッジ

対 前期

Compared to the previous period

(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)

単位：百万円 Million yen, %

		17/3期 March 2017	18/3期 March 2018	前期差	前期比
リテール 事業	売上高	53,124	59,245	+6,120	111.5%
	営業利益	2,662	3,721	+1,058	139.8%
フーズ・ ビバレッジ 事業	売上高	26,069	24,941	△1,128	95.7%
	営業利益	1,132	795	△336	70.3%

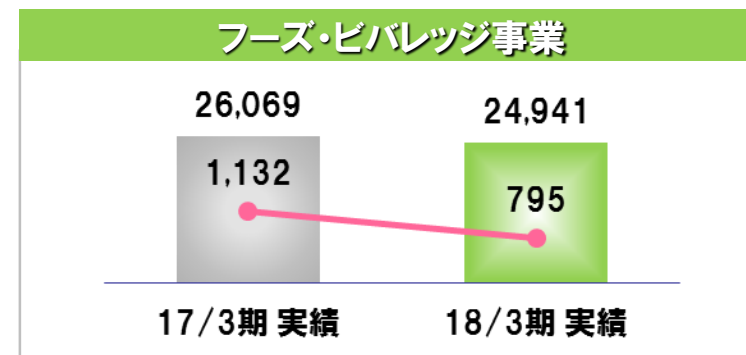
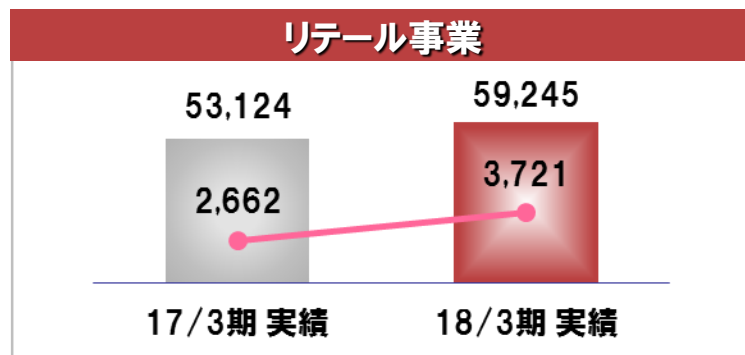
Remark (主な要因)

[リテール事業]

- ・国内空港店舗「BLUE SKY」増収増益
- ・国内外空港免税店舗増収増益
- ・免税店舗向け卸販売増
- ・インターネット通販強化による通信販売増

[フーズ・ビバレッジ事業]

- ・ブランド力のあるワイン卸販売増
- ・弁当類・菓子類卸販売増
- ・水産物販売減
- ・農産物販売減



連結業績予想

Outlook for Year Ending March 2019

対 前期

Compared to the previous period

(対前年実績)

(単位:百万円 Million yen)

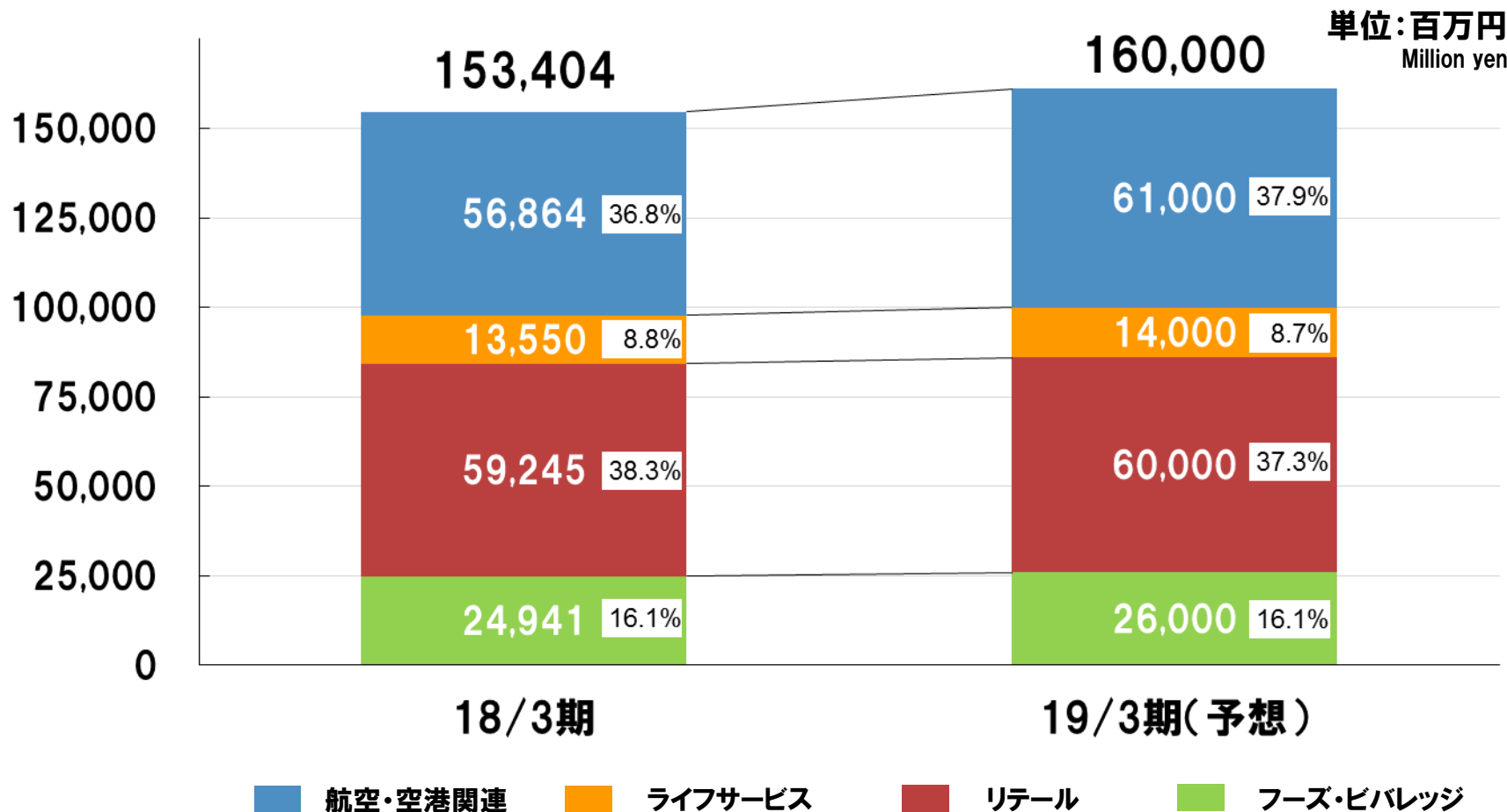
	18年3月期 実績 March 2018	19年3月期 予想 March 2019 (E)	前期差	前期比
売上高 Net Sales	153,404	160,000	+6,595	104.3%
営業利益 Operating Income	4,709	5,000	+290	106.2%
経常利益 Ordinary Income	5,166	5,500	+333	106.5%
親会社株主に帰属する当期純利益 Net Income	2,693	3,000	+306	111.4%
親会社株主に帰属する1株当たり当期純利益 [EPS](円)	213.02	237.27	+24.25	111.4%

売上高 Net Sales

対前期

Compared to the previous period

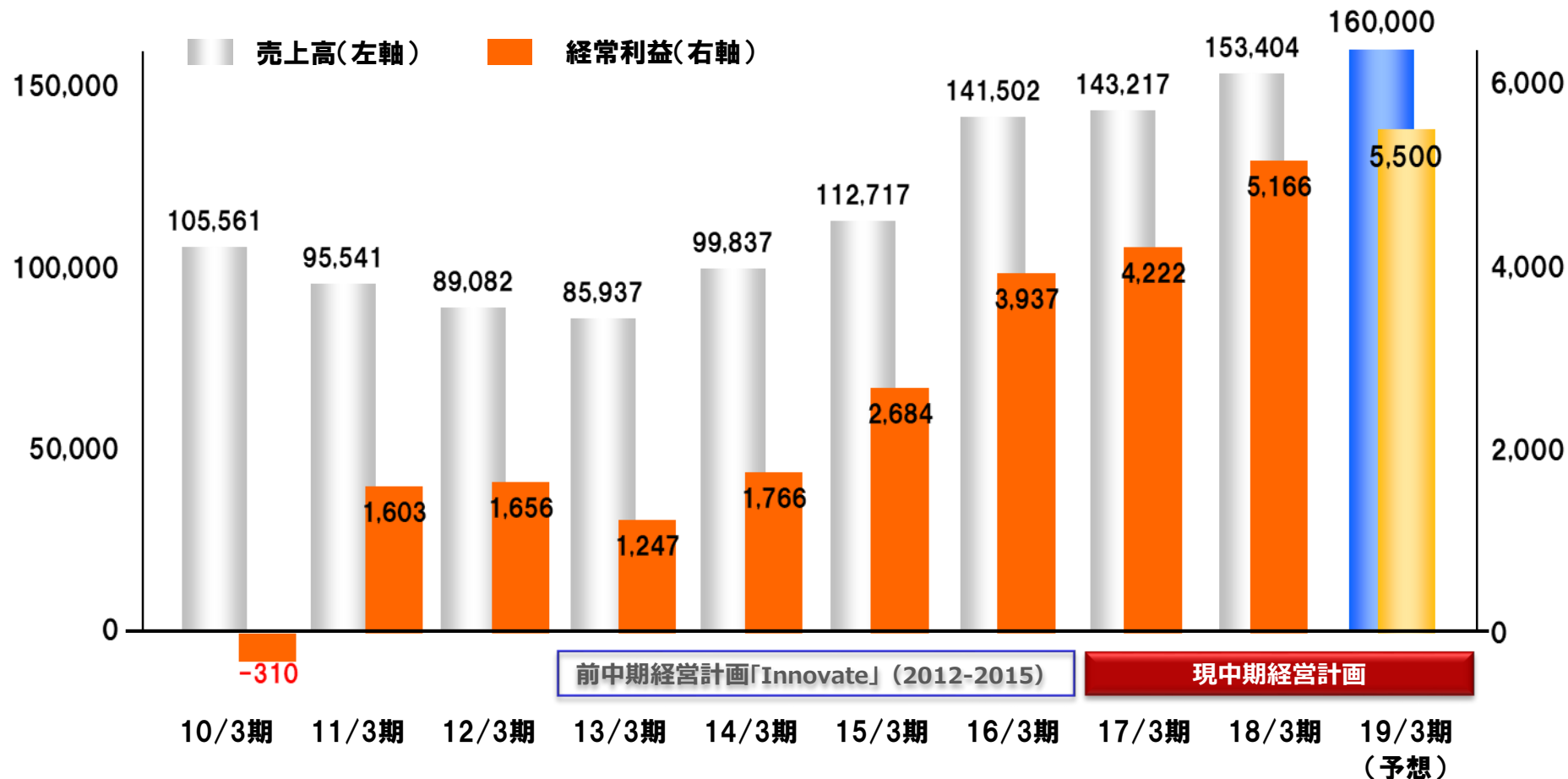
(各セグメントごとの内訳は、内部取引消去前金額)



業績推移グラフ

連結年度業績推移

単位:百万円 Million yen



中期経営計画

「Next Stage 2020」の進捗

Progress of medium-term management plan

企業理念

幸せづくりのパートナー

～人に社会に環境にもっと豊かな輝きを～

企業文化

”Challenge & Change”

環境の変化をいち早く捉え、
新たな領域を切り拓いて自らを進化させていく

事業 コンセプト

航空分野で培われた「安心」「安全」を礎として、
高品質で独自性のある事業・商品・サービスを創造する。

【JALUXグループ長期ビジョン】

世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を
創造するビジネスリーダー

中期経営計画「Next Stage 2020」

持続的成長への新たな挑戦

～航空・空港分野に独自の強みを有するグローバルな企業集団へ～

外部環境

- 航空需要増・航空産業拡大
- 規制緩和・インバウンド需要増
- 消費市場の細分化
- 国内人口減、世帯構造変化
- アジア各国の経済成長

内部環境

- 既存事業収益の拡大
- 海外・戦略拠点の収益貢献
- コア事業創出に向けた継続的な取組み
- 一部不採算事業の撤退
- 健全な財務状況・投資余力維持

重点戦略・海外重点エリア・戦略推進の基礎



【重点戦略】

- 1 収益基盤の拡大
- 2 新たなコア事業の創出と育成
- 3 事業ポートフォリオの最適化

海外重点
エリア

ASEAN域

米国

【戦略推進の基礎】

人材の育成と
組織力の強化

資金調達力と
財務の健全性
の確保

グループ経営
の深化

4つの事業セグメント

2017年度より事業セグメントに対応した4事業本部体制へ移行。

<事業セグメント(事業領域)>



2018年度から執行役員が各事業本部長として指揮し、各事業セグメントにおける執行体制を強化。

計画達成へのロードマップ

【長期ビジョン】

世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を創造するビジネスリーダー

Next
Stage
2020

【中期経営計画】

持続的成長への新たな挑戦

～ 航空・空港分野に独自の強みを有する
グローバルな企業集団へ ～

[Second Step]

収益基盤の拡大

新たなコア事業の機軸化

事業ポートフォリオの最適化

[First Step]

2017 収益基盤の強化

新たなコア事業の開発・育成

事業の選択と集中

着実に進行

一部収益化に貢献

一部不採算事業の撤退

2016

2019

2018

事業方針と重点施策：航空・空港関連セグメント

事業方針

- 航空・空港でのニッチ市場を開拓し、大手企業にない競争優位性を確立
- 日本のエアラインで培った高品質な商品の供給・サービス提供を世界に拡大

重点施策

国内・海外拠点
の連携強化

航空関連アセット
ビジネスの展開

空港運営事業と
周辺ビジネスの拡大

セグメント利益

(共通経費配賦前営業利益)

(億円)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・民間航空機の需要増大
- ・整備市場規模の拡大
- ・空港民営化(国内外)の流れ

◆今後の課題

- ・拠点間連携における機能強化

重点施策の今年度の取組み:航空・空港関連セグメント

①国内・海外拠点の連携強化

- 日本、米州、欧州、シンガポール拠点の連携強化による商圈拡大
- 既存運営空港における整備事業への取り組み
- 名古屋中京地区、西日本地区での航空機部品事業の拡大

②航空関連アセットビジネスの展開

- 航空機及びエンジンリース事業の拡大
- 航空機及びエンジン売買に関する仲介事業



③空港運営事業と周辺ビジネスの拡大

- JALグループとの連携による既存運営2空港での事業拡大
- 新たな空港運営参画に向けた活動



事業方針と重点施策：航空・ライフサービスセグメント

事業方針

- 実業を通じて、社会の発展や暮らしの質(QOL)の向上に貢献
- 専門性を高めた專業子会社をもって機動的な事業運営を実現

重点施策

空港周辺不動産開発
シニア向け事業の推進

保険事業の深耕
と拡幅

環境配慮型資機材の
製造・販売強化

セグメント利益

(億円)

(共通経費配賦前営業利益)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・空港周辺不動産の需要拡大
- ・高齢者向け住宅の需要増加、多様化
- ・環境に配慮した商品ニーズの拡大

◆今後の課題

- ・新規事業の収益貢献

重点施策の今年度の取組み: ライフサービスセグメント

① 空港周辺不動産開発・シニア向け事業の推進

- 空港沿線を中心とした総合的な不動産事業の開発
- 機動的な投資による良質なアセットの拡充



② 保険事業の深耕と拡幅

- BPO事業の拡大とオペレーション効率の向上

※BPO (Business Process Outsourcing) 事業: 個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務 (契約手続きやコールセンター業務など)の一部を受託する事業。



③ 環境配慮型資機材の製造・販売強化

- 米州におけるAQUA PATCH販売網の構築とアジア・北欧への横展開
- AQUA BLACKの販売体制強化

※AQUA PATCH : 水をかけると固まる道路補修材。

※AQUA BLACK : 中温化アスファルト合材プラント設備。



事業方針と重点施策:リテールセグメント

事業方針

- Made in/by JAPAN商材の開発・世界発信(海外店舗展開等)
- 顧客層の変化を先読みした商品開発・商品ポートフォリオの最適化

重点施策

多様な顧客ニーズに応える
サービス・商品力の向上

海外リテール
店舗の展開

オリジナル商品の企画開発
とブランディング

セグメント利益

(億円)

(共通経費配賦前営業利益)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・航空旅客需要の増加
- ・インバウンド市場の伸長
- ・ASEAN諸国における経済成長

◆今後の課題

- ・販売力・企画開発力の強化

重点施策の今年度の取組み:リテールセグメント

①多様な顧客ニーズに応えるサービス・商品力の向上

- 人員体制強化、人材育成、システム活用によるサービス向上
- 「トラベル」「グルメ」をテーマにしたコンテンツの開発



②海外リテール店舗の展開

- ASEAN域内における新たな免税店舗の出店検討
- スイーツ店舗の海外展開



③オリジナル商品の企画開発とブランディング

- 提携工場やグループ内連携によるオリジナル商品の企画・製造体制の強化
- オリジナル商品のプロモーション強化



事業方針と重点施策：フーズ・ビバレッジセグメント

事業方針

- 「世界の食文化を日本へ、日本の食文化を世界へ」のコンセプトのもと商品開発・商材発掘を推進
- 加工・製造分野の強化によるバリューチェーンの拡大

重点施策

世界中のより良い商材の
国内輸入販売拡大

高付加価値商品の
海外輸出展開

加工・製造分野強化

セグメント利益

(億円)

(共通経費配賦前営業利益)



◆2020年度に向けた成長機会

- ・日本食ブームの到来
- ・農林水産物、食品の輸出拡大
- ・食の安全・安心に対する意識の高まり

◆今後の課題

- ・気候変動による調達リスクの軽減

重点施策の今年度の取組み:フーズ・ビバレッジセグメント

①世界中のより良い商材の国内輸入販売拡大

- 評価の高いワインリストの構築と販売強化
- 新たな商材・産地の開発



②高付加価値商品の海外輸出展開

- 国内生鮮食品の海外展開
- 日本製造の良質な酒類(日本酒・焼酎)の海外輸出



③加工・製造分野強化

- 水産加工品のラインナップ拡充
- 土産菓子などのオリジナル商品の開発



【TOPICS】高付加価値商品の海外輸出展開

➤ **タイ初 日本生鮮卸売市場『トンロー日本市場』を2018年6月開業予定**

＜外観イメージ＞



＜出店エリア＞

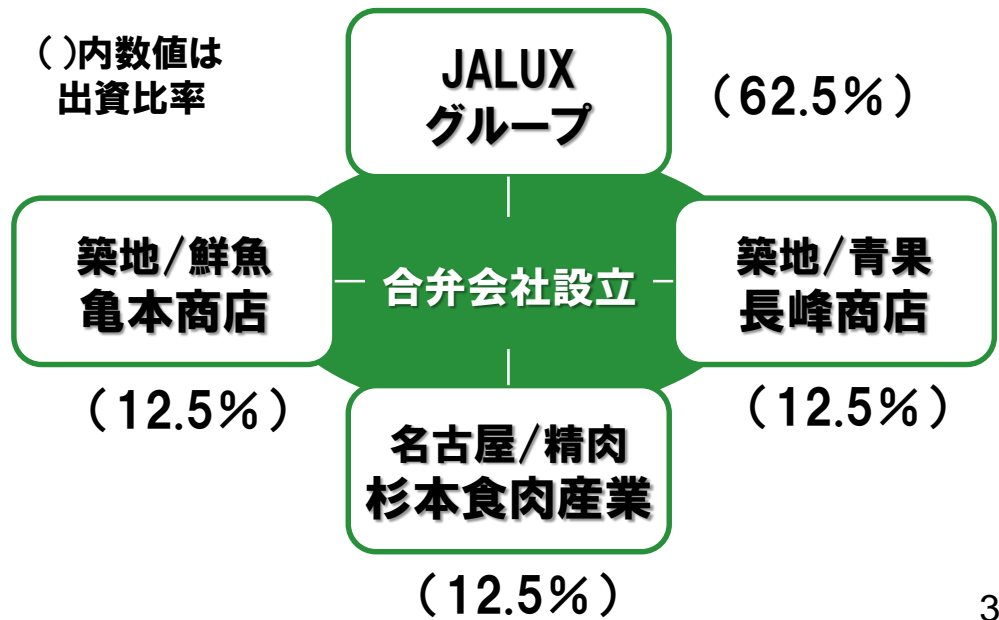
- ・スクンビット・トンローエリア
- ※バンコクの中でも特に日本食レストランの多いエリア

【合併会社概要】

会社名：J VALUE CO., LTD
 設立年月日：2018年3月15日
 資本金：44,440,000バーツ

事業内容：

タイ バンコクにおける日本産生鮮食材(鮮魚・野菜・果実・牛肉等)の業務用卸売市場の運営

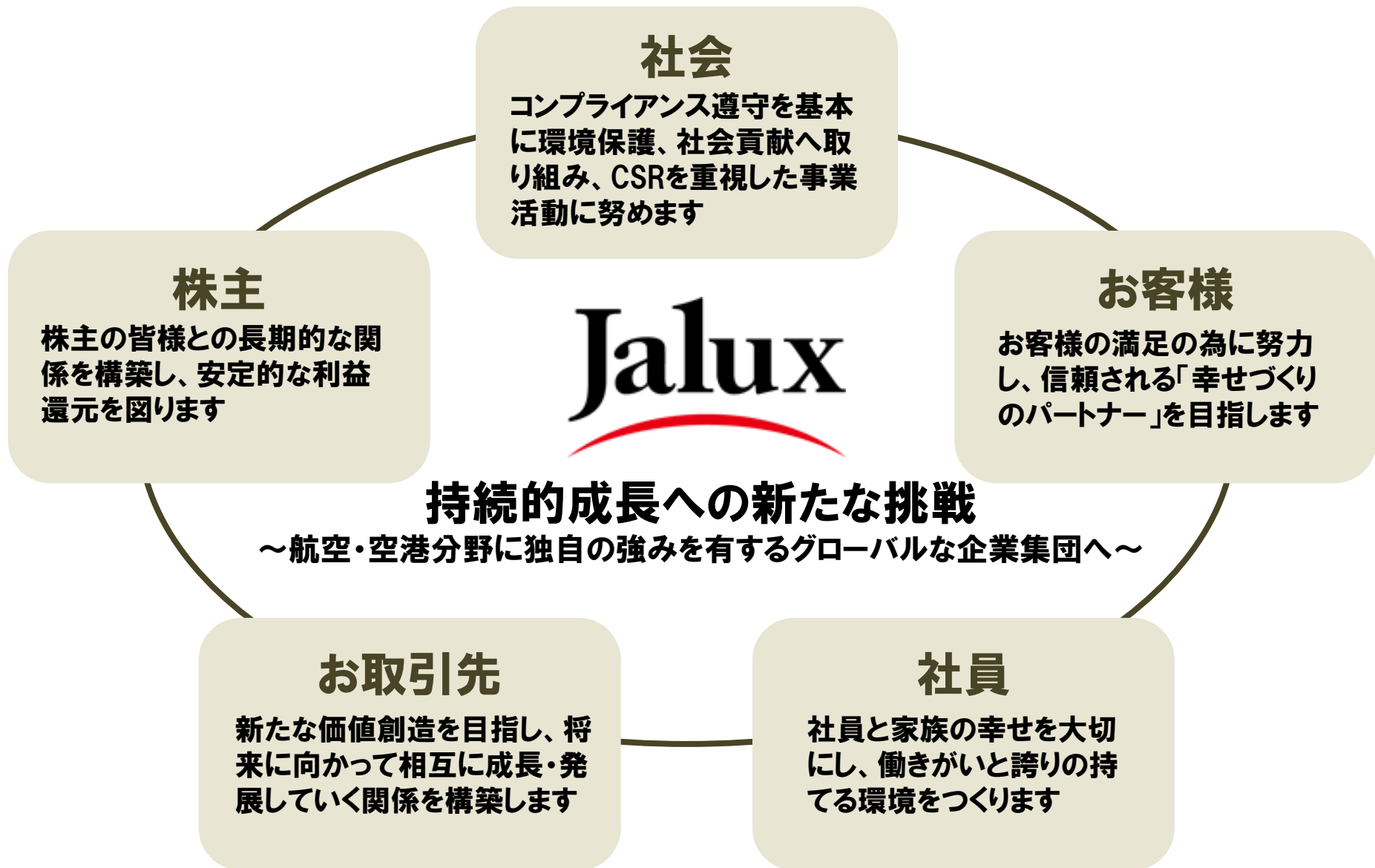


2018年度 連結業績予想

	2017 年度実績	2018 年度予想	2020 年度目標
連結経常利益	51.7億円	55億円	80億円
ROE (自己資本当期純利益率)	12.8%	13.0%	15.0%
ROA (総資産経常利益率)	11.1%	10.9%	12.0%
(参考)			
連結売上高	1,534億円	1,600億円	2,000億円
セグメント利益*	64億円	70億円	105億円

*セグメント利益: 共通経費配賦前営業利益合算値

JALUXグループのコミットメント





本資料についてのご注意

本資料はご参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書・四半期報告書をご参照願います。

また、本資料記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、世界経済や為替変動等のリスク・不確定要素を含む様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社 JALUX 経営企画部 広報IR課 TEL.03-6367-8822(直通)